

NEWS LETTER Vol.03

6中学校区で市民ワークショップを開催しました！

市民の皆様の声をお聴きし、地域福祉計画の策定に活かすため、6中学校区での市民ワークショップを開催しました。

1中学校区あたり9～11名の市民の皆さんとスタッフが、4名1班で「北名古屋市の地域の支え合い」の良いところ、良くないところを出しあい、「良いところを伸ばし、良くないところを改善する方法」を考え、発表しあいました。

ワークショップは、新型コロナ対策として、人と人の距離を保てるよう、参加者数を限定し、広い会場で、画用紙にご意見を書いていただき壁に貼るという方法で実施しました。

学生や子育て世代、ボランティア参加者など、多様な方々の参加を得て、改めて地域で話し合うことの大切さが実感された会となりました。



市民ワークショップの開催日時・場所・参加者数

日時	場所	対象	参加者数
7月3日(土) 10時～12時	憩いの家さかえ荘	主に師勝中学校区在住の方	出席者11名＋スタッフ参加者1名 ＋事務局員
7月3日(土) 14時～16時	憩いの家さかえ荘	主に訓原中学校区在住の方	出席者9名＋スタッフ参加者3名 ＋事務局員
7月10日(土) 10時～12時	憩いの家さかえ荘	主に熊野中学校区在住の方	出席者10名＋スタッフ参加者2名 ＋事務局員
7月10日(土) 14時30分～16時30分	陽だまりハウス	主に西春中学校区在住の方	出席者11名＋スタッフ参加者1名 ＋事務局員
7月17日(土) 10時～12時	陽だまりハウス	主に白木中学校区在住の方	出席者9名＋スタッフ参加者3名 ＋事務局員
7月17日(土) 14時～16時	陽だまりハウス	主に天神中学校区在住の方	出席者11名＋スタッフ参加者1名 ＋事務局員

6中学校区で出された意見の概要

◆師勝中学校区

師勝中学校区のワークショップでは、「身近な人づきあいからはじめ、頼り、頼られる関係に発展させるためのしくみづくり」や、「心理的にも物理的にも一歩外に（前に）出る意識を持つこと」、「高齢者が地域住民のために活躍できる機会づくり」などの方向が示されました。

師勝中学校区のワークショップの様子



訓原中学校区のワークショップの様子



◆訓原中学校区

訓原中学校区のワークショップでは、「つながり、気持ちを寄せ、安心な地域をつくっていくこと」や、「公的情報の世代・状況に応じた柔軟な伝達」、「子どもの目線のまちづくりを」などの方向が示されました。



◆熊野中学校区

熊野中学校区のワークショップでは、「『楽しさ』をキーワードに、未来を見据えた地域コミュニティづくりを」、「活発な地域活動を『知る方法・知らせる方法』の工夫を」、「市や社協の職員がもっと地域の会合に参加すべき」などの方向が示されました。

熊野中学校区のワークショップの様子



西春中学校区のワークショップの様子



◆西春中学校区

西春中学校区のワークショップでは、「人のつながりを大切にしていきたい」、「希薄になった支え合い機能を補う、新しい取り組みに期待したい」、「『地のつながり』を生かす、子育て世代のつながりを深める」などの方向が示されました。

◆白木中学校区

白木中学校区のワークショップでは、「若者が地域と関わりを持ち続けられる地域に」、「各児童館の『地域ふれあい会』を核に地域づくりを」、「子どもたちが自然や地域の人々とふれあいながら育つ地域に」などの方向が示されました。

白木中学校区のワークショップの様子



天神中学校区のワークショップの様子



◆天神中学校区

天神中学校区のワークショップでは、「多世代を結びつける『コールセンター』を」、「高齢者、障害者など生活弱者に様々な支援を」、「『ギブ&テイク』のしくみで支え、支えられる地域に」などの方向が示されました。

★★★すてきなアイデアの一部をご紹介します★★★

- 助けたい気持ちはあるが、助け方がわからないのが現状。また、頼られ上手になることも大切。信頼関係を育て、頼られる人になっていきたいし、個人対個人では「迷惑かけたくない」という気持ちが先行するので、対価を伴う有償ボランティアのようなくみが有効と思われる。
- 北名古屋市のいいところは、「つながり」からの「安心」。まだまだ地域行事が残っていて、近所のつながりが程よくあり、顔見知りになり、安心を得られる。しかし、「地域で本当に困っている人」の存在がわかりづらい。困っていても、普通は口に出したり、その素ぶりをみせない。知的障害者、認知症の人など、意思疎通しづらい人に気持ちを寄せていくことも大切。
- 例えば、地域防災活動は、災害への恐怖心だけで進めていくのは難しい。怖いからやらないといけないと言っても、人は動かない。「参加の楽しさ」がキーワード。
- 学校で行われている高齢者との交流など、人々を互いにつなげる機会を設けていくことで、地域の問題がいい方向に向かうと思われる。つなげる方法はないか、これからも考えていきたい。
- 児童館の「地域ふれあい会」や、6地区のスポーツクラブが、地域に根づいた活動を行っている。これからも、地域のニーズをキャッチして、活動を発展させると、素敵な地域づくりにもつながっていく。
- 「みんなが支える側にも支えられる側にもなろう！」を合言葉に、地域クーポン券制度を作るなど、お返しができる「ギブ&テイク」のしくみがあればいい。

地域福祉計画に関するご意見をお待ちしています！

「かわら版」をご覧ください、ありがとうございます。

北名古屋市・北名古屋市社会福祉協議会では、第4期地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定にあたり、随時、市民の皆様からのご意見を募集しています。

地域で感じている困りごと、地域福祉への思いなど、何でもお寄せください。

多くのご意見をお待ちしています。

北名古屋市 福祉部 社会福祉課

《電話 0568-22-1111(代表) FAX 0568-24-0003 メール shakai@city.kitanagoya.lg.jp》

北名古屋社会福祉協議会

《電話 0568-25-8500(代表) FAX 0568-25-1911 メール fukushi@kitanagoya-shakyo.jp》

ご意見シート

ふりがな 氏名または団体名	
住所または所在地	
電話番号	() -
意見の内容 ※いずれかに○	１．かわら版 第 号について ２．地域福祉計画について ３．地域課題について ４．その他（ ）
意見等記入欄	